

中小企業等DX導入促進・推進人材育成事業企画運営業務委託審査基準

審査項目		配点	審査基準と審査項目選定理由
1	基本姿勢	10	<p>【審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「現場伴走・プッシュ型」という本事業の主旨を深く理解し、単なるIT導入ではなく「賃上げ」や「経営基盤強化」に繋げる意識をもっているか。</li> <li>・県内団体や他事業との連携の重要性を理解し、DX推進の流れを全県へ波及させる意欲があるか。</li> <li>・本事業によりなされるDX推進のための県内連携を、今年度限りのものではなく、県内DX推進基盤作りに効果のあるものとして設計しているか。</li> </ul>
2	支援内容	25	<p>【審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的で効果的な支援手法(業界向けツール・SaaS・生成AI活用等)が提案されているか。</li> <li>・県内DX団体活動との連携や関連施策の活用が十分に図られており、効率的で効果的な支援方法が提案されているか。</li> <li>・可能な限り多くの中長期支援を実施する内容になっており、それが確実に実現できる現実的な設計となっているか。</li> <li>・100件超の伴走支援を確実に実行できる現実的な設計となっているか。</li> <li>・20回の研修について、受講者が「自分事」として捉えられ、即実践に移せる具体的なカリキュラムとなっているか。</li> </ul>
3	接点創出 ／ 普及啓発・ 情報発信	25	<p>【審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工団体や金融機関等のプッシュ型で活動する団体と深く連携する、個別の店舗に訪問するなど、プッシュ型で潜在的な支援ニーズを掘り起こし、DX導入促進につなげる具体的で現実的な手法が設計されているか。</li> <li>・DXを自分ごととして捉えるためのコンテンツとして、興味喚起にとどまらず、相談や支援申込につながる導線が具体的に設計されているか。</li> <li>・「DX信玄くん」を効果的に活用し、DXに関心の薄い層の興味を引くブランド構築や広報策が提案されているか。</li> </ul>
4	事務局体制	10	<p>【審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの責任者やスタッフが、DX支援や小規模事業者支援に関する十分な実績・知識を有しているか。</li> <li>・事業を円滑に行うための体制と、早期に事業を開始し完遂するための現実的なスケジュールが示されているか。</li> <li>・多様な相談を整理し、適切な支援先へ振り分ける判断力・運用体制が示されているか。</li> </ul>
5	効果測定と見直し	10	<p>【審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の満足度だけでなく、支援後の「ツール導入状況」や「意識の変化」を定量的・定性的に把握する仕組みがあるか。</li> <li>・事業期間中に課題が判明した際、柔軟に内容をブラッシュアップし、次年度に繋げる提案がなされているか。</li> </ul>
6	独自提案	10	<p>【審査基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書の項目以外で、提案事業者独自のネットワークや知見を活かした、県内事業者のDXを加速させる提案があるか。</li> <li>・実現可能性や本事業との整合性が確保されている提案であるか。</li> </ul>
7	価格点	10	<p>【審査基準】</p> <p>事業費総額として妥当な提案がされていること。          参考見積額、予定価格とも消費税を除いた金額を用い、以下の計算式に当てはめて算出した数字をもって得点とする。          応募者中の最低見積額 / 当該提案者の見積価格 × 10          ※小数点以下四捨五入</p>

合計 100